

2026年3月期 第2四半期(中間期)

決算説明資料

ヨネックス株式会社

証券コード:7906

2025年11月7日

1.2026年3月期 上期連結決算	3
2. セグメント概況	8
3.2026年3月期 業績予想	15
4. Appendix	17

一2026年3月期 上期決算ハイライト

売上高

795億円

前年同期比

+18.8%

営業利益

88億円

前年同期比

+15.0%

親会社株主に帰属する中間純利益

63億円

前年同期比

+17.4%

売上高

- スポーツ市場が堅調に推移する中、契約選手活躍の話題を活かした情報発信や世界各地で大会に合わせたマーケティングや草の根販促活動に注力
- バドミントンでは、最大市場の中国で堅調な需要が継続し全体を牽引。テニスでは、グローバルでブランド認知が高まり、新製品ラケットも販売伸長
- 海外では円高に伴う業績換算の下押し影響があったものの、連結で上期として過去最高売上高を計上

営業利益

- グローバルでの市場活性化とブランド認知拡大に向けたマーケティング強化に伴う広告宣伝費と人件費を中心に販管費が増加
- 増収による粗利増加が販管費の増加を上回り、連結で上期として過去最高営業利益を計上

一連結業績

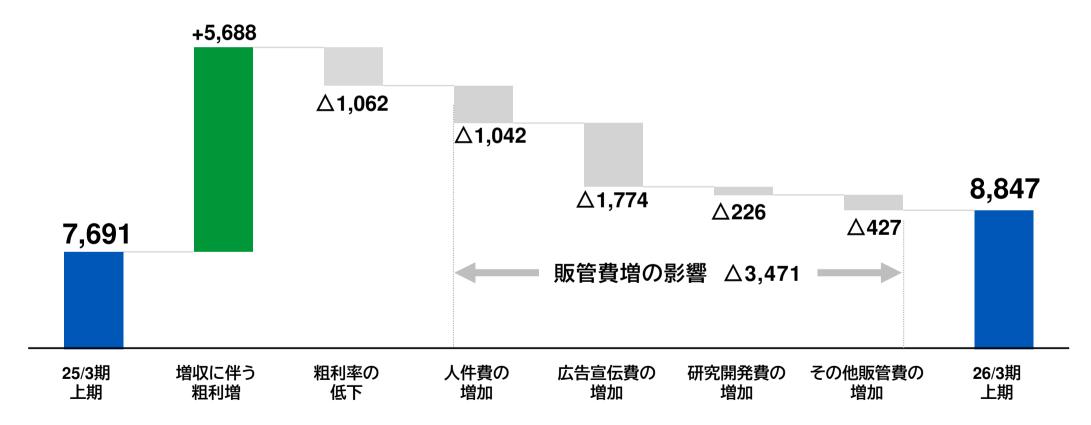
(百万円)

	2025年3月期	2026年 上		増減率	2026年3月期
	上期実績	実績	売上比	(増減額)	通期予想 [※]
売上高	66,942	79,532	_	+18.8% (+12,590)	162,000
売上総利益	30,248	34,875	43.9%	+15.3% (+4,626)	
販管費	22,556	26,028	32.7%	+15.4% (+3,471)	_
営業利益	7,691	8,847	11.1%	+15.0% (+1,155)	16,200
経常利益	7,344	8,199	10.3%	+11.6% (+854)	15,600
親会社株主に帰属する 中間純利益	5,425	6,371	8.0%	+17.4% (+946)	11,600
1株当たり中間純利益	62.68円	74.55円	_	+11.87円	135.76円

※ 2025年11月7日修正値

一連結営業利益 増減分析

粗利率は原価上昇や一部商品の品質不良に伴う損失により低下も、増収効果で粗利が増加。グローバルでの市場活性化とブランド認知拡大に向けたマーケティング強化に伴う広告宣伝費と人件費を中心に販管費が増加



一連結貸借対照表

有形固定資産および有利子負債は、事業拠点整備のための不動産取得およびテニス新工場関連の設備投資と、それらに伴う借 入により増加

資産

	2025年3月末	2025年9月末	増減額
現預金	29,478	34,856	+5,377
受取手形·売掛金	20,003	20,244	+241
棚卸資産	20,005	19,469	△535
有形固定資産	30,607	36,082	+5,475
無形固定資産	1,725	1,497	△227
その他	7,731	8,687	+956
資産合計	109,551	120,838	+11,287

• 負債·純資産

	2025年3月末	2025年9月末	増減額
買掛金	10,402	10,118	△283
有利子負債	10,213	17,491	+7,277
その他	19,508	19,229	△278
負債合計	40,124	46,839	+6,714
自己資本	69,201	73,784	+4,582
非支配株主持分	224	215	△9
純資産合計	69,426	73,999	+4,573
負債純資産合計	109,551	120,838	+11,287

一連結キャッシュ・フロー

┃ グローバル成長戦略(GGS)に基づく成長投資に備えるため、必要な手元資金を確保

- (ᅩ	$\overline{}$	Ή
(ㅁ	IJ	

	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,710	7,750	+39	
投資活動によるキャッシュ・フロー	∆3,115	△7,256	△4,141	
フリー・キャッシュ・フロー	4,595	494	△4,101	・事業拠点整備のための不動産取得・テニスラケット新工場関連設備投資
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,528	5,876	+4,348	
現金及び現金同等物に係る 換算差額	1,539	△948	△2,487	・借入による収入
現金及び現金同等物の増減額 (Δは減少)	7,663	5,422	△2,240	
現金及び現金同等物の残高	30,843	34,423	+3,579	

一 セグメントの概要

| 日本・アジア・北米・ヨーロッパの4つの地域別セグメントから成るスポーツ用品事業と、スポーツ施設事業で構成

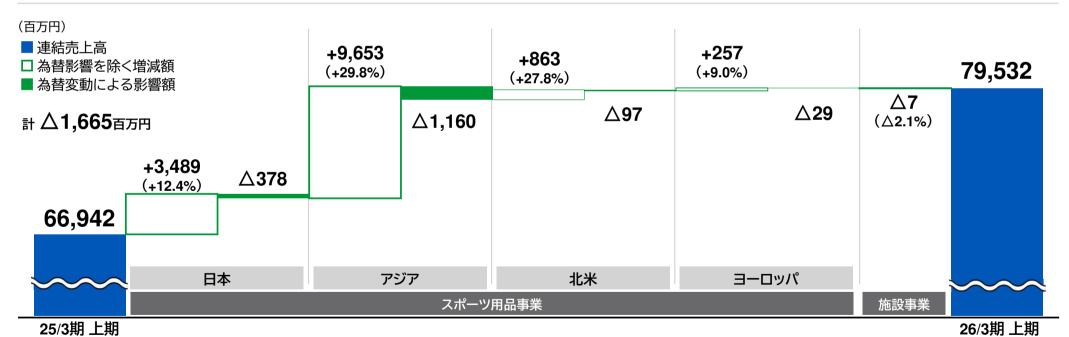
セグメント		2026年3月期	上期 実績	連結売上高	業績計上対象			
ピクスン	売上高 営業利益 構成比		構成比	販売	製造			
	日本	31,278	2,074	39.3%	ヨネックスジャパン(日本国内向け)海外代理店向け*	新潟工場東京工場ヨネックス精機		
スポーツ用品 事業	アジア	40,931	6,044	51.4%	ヨネックス中国ヨネックス台湾	ヨネックス台湾ヨネックスインドヨネックステクニファイバー (タイ)		
	北米	3,876	286	4.9%	• ヨネックス北米 (アメリカ・カナダ)			
	ヨーロッパ	3,085	227	3.9%	ヨネックスドイツヨネックスイギリス			
スポーツ施設事業		361	46	0.5%	カントリークラブ、ゴルフ練習場、 テニスクラブの運営			

[※] 代理店を経由して販売している地域:東南アジア・インド・韓国・フランス・オーストラリア等

一 セグメント別売上高への為替影響

すべての通貨で前年同期比で円高となり、換算が各セグメントで業績を下押しも、各地域堅調に増収

1GBP	1EUR	1USD	1TWD	1RMB	● 為替レート
192.66円	164.59円	152.24円	4.76円	21.05円	25/3期 上期(1-6月)
192.57円	162.14円	148.59円	4.66円	20.46円	26/3期 上期(1-6月)
△0.0%	△1.5%	△2.4%	△2.1%	△2.8%	前年同期比



一スポーツ用品事業 日本

売上高

31,278百万円 +11.0%

国内

バドミントンは需要が引き続き堅調で、ラケットでは幅広い価格帯で販売が増加したほか、夏の大会シーズンで競技活動も活発化しストリングの販売も増加し増収。テニスは新製品発売効果により増収

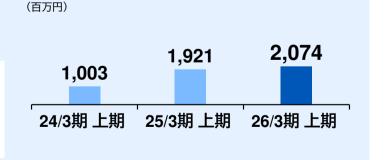
海外代理店

バドミントンはアジアでの需要継続に加え、欧州でも活動が活発化し、フランスでの世界選手権開催の話題も市場を活性化させ増収。テニスでは契約選手の活躍や新製品の話題を活かしたマーケティングが奏功し増収



営業利益

粗利率は原価上昇や一部商品の品質不良に伴う損失により低下も、増収効果で粗利が増加。販管費は、人件費やグローバルでの広告宣伝費等により増加。粗利の増加が販管費の増加を上回り増益



一スポーツ用品事業 アジア



40,931_{百万円} +26.2%

中国

バドミントン市場が堅調に推移する中、中国代表チームの活躍等を活かし草の根販促活動や「Head to Toe(頭からつま先まで)」提案を強化。ウェアやバッグを含む幅広い製品の販売拡大が増収に寄与。テニスでは、国際大会採用を活かしたマーケティング展開による販売伸長

台湾

5月のバドミントン国際大会で地元選手が活躍し、最終日は過去最高の 入場者数を記録。競技の盛り上がりが続き、増収に寄与



営業利益

6,044百万円 +19.2%

増収により売上総利益が増加。販管費は主に中国子会社でのマーケティング活動強化に伴う広告宣伝費や人件費を中心に増加も、売上総利益の増加がこれを上回り、増益



為替レート

2024年1-6月

2025年1-6月

前年同期比

2024年1-6月

2025年1-6月

前年同期比

1RMB

21.05円 20.46円

0.59円 円高

1TWD

4.76円

→ 4.66円

0.10円円高

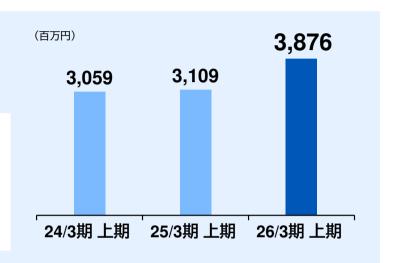
一スポーツ用品事業 北米

前年同期比

3,876百万円 +24.6%

売上高

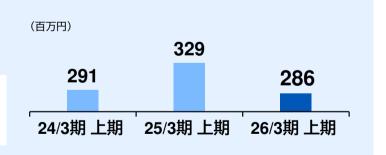
テニス用品は、新製品ラケット「EZONE」シリーズが販売を牽引し、スト リングの販売も伸長して増収。バドミントンは、米国・カナダでの競技活 発化を背景にストリングやシャトルコックが好調。4月にDTCの取組とし てアメリカでECサイトを開設し、製品アクセス向上とブランド認知拡大、 「Head to Toe」での製品情報の発信に注力



営業利益

前年同期比 286百万円 **∧13.0**%

増収効果により売上総利益が増加したものの、社内体制強化に伴う人 件費やマーケティング活動強化による広告宣伝費、DTC関連費用など販 管費の増加により減益



● 為替レート

2024年1-6月

2025年1-6月

前年同期比

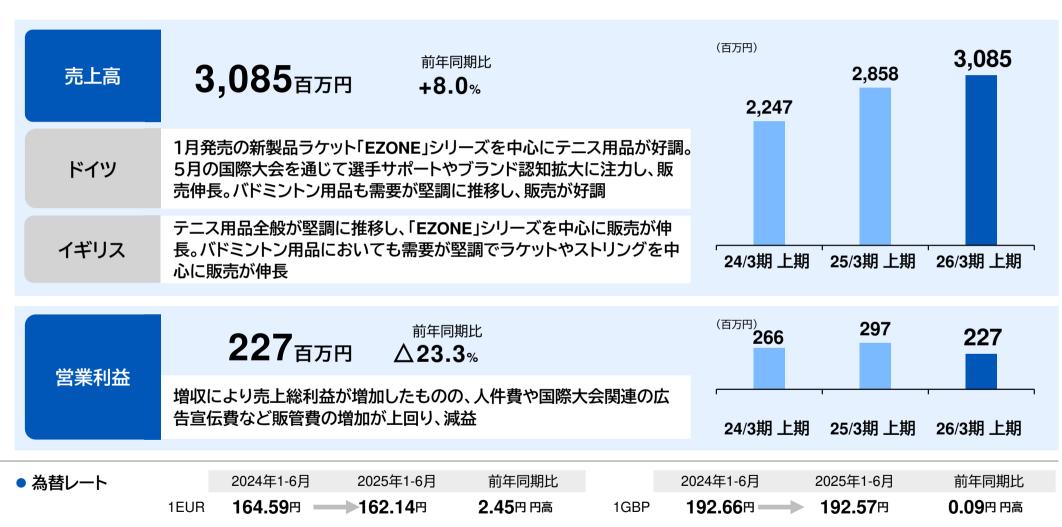
1USD

152.24円 148.59円

3.65円 円高

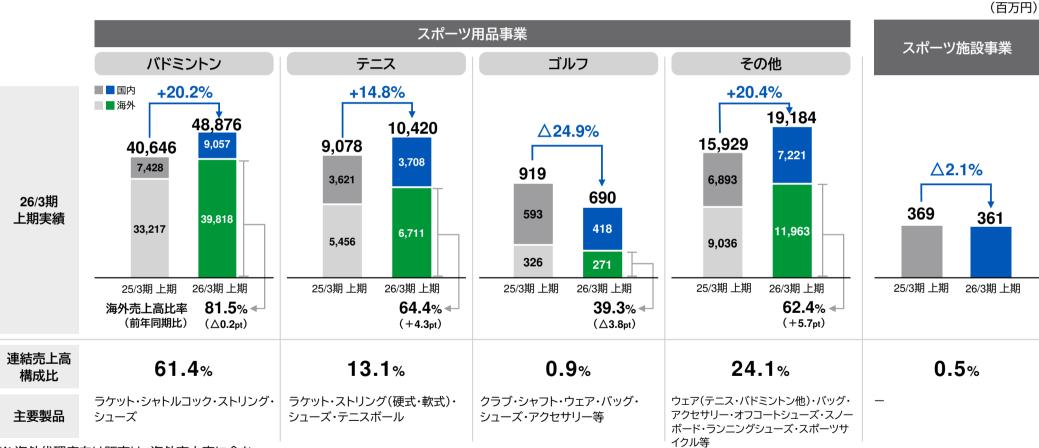
12 -

一スポーツ用品事業 ヨーロッパ



—種目別売上高

バドミントンは引き続き市場が活性化し、国内・海外ともに増収。テニスは北米や欧州を中心に海外で増収。その他は主に中国でウェア、バッグ、アクセサリー等の販売が増加



[※]海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

一2026年3月期 業績予想(上方修正)

5月発表の業績予想を上方修正。今後もスポーツ市場の堅調な推移を見込む一方、さらなるファン拡大に向けた投資を強化

• 修正の理由

上期は海外、国内ともに堅調なスポーツ需要と国際大会及び契約選手活躍の話題を 活かしたマーケティング活動等も奏功したことに加え、期初に想定していた為替レート に比べ円安傾向に推移したこともあり、売上高、利益ともに5月公表の予想を上回る

• 予想の前提

- ・今後もスポーツ市場の堅調な推移を見込む
- ・グローバル成長戦略(GGS)で掲げた成長に向けた戦略的投資を強化

為替レート(期中平均)

(円)

26/3期 今回予想	26/3期 前回予想	25/3期 実績	
21.0	19.5	21.01	1RMB
4.8	4.5	4.71	1TWD
150	140	151.57	1USD
170	160	163.94	1EUR
195	190	193.68	1GBP

(百万円)	2025年3月期	2026年 予		増減率(増減額)		
(日ガロ)	実績	前回予想 (5/9発表)	修正予想 (11/7発表)	前年比	前回予想比	
売上高	138,276	148,000	162,000	+17.2% (+23,723)	+9.5% (+14,000)	
営業利益	14,178	14,800	16,200	+14.3% (+2,023)	+9.5% (+1,400)	
営業利益率	10.3%	10.0%	10.0%	△0.3pt	+0.0pt	
経常利益	13,964	14,600	15,600	+11.7% (+1,635)	+6.8% (+1,000)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,591	10,800	11,600	+9.5% (+1,008)	+7.4% (+800)	

一配当

安定的かつ適正な配当水準を維持することを基本方針とする。中間配当は普通配当12円とし、期初予想から変更なし。年間配当金は24円を予定

		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (中間決定額・ 期末予想)
1株当たり配当金	(円)	10.0	13.0	16.0	22.0	24.0
	普通	3.0	5.0	7.0	10.0	12.0
中間配当金	特別	1.0	1.0		1.0	_
	記念	1.0				
加十三以	普通	3.0	5.0	7.0	10.0	12.0
期末配当金	特別	2.0	2.0	2.0	1.0	_
DOE(%)		2.1%	2.3%	2.4%	2.9%	_



一参考:国内/海外法人の決算期について

日本セグメント(国内事業・海外代理店向け販売)は3月決算、海外現地法人は12月決算であり、連結決算における対象期間は 以下のとおり

• 2026年3月期上期 連結決算の対象期間(会社別)

2025年												\rightarrow	2026	# —	\longrightarrow
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日本セグメント (国内+海外代理店向け)						第2四半期 (2Q) 第3四半期 (3Q)			期	第	54四 半 (4Q)	期			
アジア、北米、 ヨーロッパセグメント (海外子会社)	第1四半期 (1Q)		第	2四半 (2Q)	期	第	3四半 (3 Q)	期	第	4四半 (4Q)	期				

一 セグメント別売上高推移

(百万円)

	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期
日本 (国内+海外代理店向け)	18,836	24,291	26,078	28,167	31,278
アジア (子会社)	13,344	21,215	26,005	32,438	40,931
北米 (子会社)	1,451	2,568	3,059	3,109	3,876
ヨーロッパ (子会社)	864	1,671	2,247	2,858	3,085
施設事業	290	346	334	369	361
連結売上高	34,788	50,092	57,725	66,942	79,532

日本セグメント アジアセグメント 日本国内向け及び海外代理店向け販売 (東南アジア、インド、韓国、フランス、オーストラリア等)

中国・台湾・インド・タイ子会社

北米セグメント

ヨーロッパセグメント

北米子会社(アメリカ・カナダ)

ドイツ・イギリス子会社

一地域別(仕向地別)売上高推移

		2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期
日本		14,417	17,135	17,138	18,906	20,767
海外売上高		20,370	32,956	40,586	48,035	58,765
	アジア地域	16,860	25,343	32,150	38,567	47,304
	北米地域	1,451	2,568	3,059	3,109	3,903
	ヨーロッパ地域	1,326	4,098	4,498	5,501	6,229
	その他	732	946	878	857	1,326
合計		34,788	50,092	57,725	66,942	79,532
海外	売上高比率	58.6%	65.8%	70.3%	71.8%	73.9%
日本 スポーツ施設事業を含む日本事業 アジア地域 中国・台湾・東南アジア・韓国・インド 他 北米地域 アメリカ・カナダ			ヨーロッパ地域その他		ドイツ・イギリス・デンマーク・フランス 他 オーストラリア・中近東・中南米 他	

[※]海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

一本資料に関する注意事項

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略等は、当社が作成日時点にお いて把握できる情報から得た判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、様々なり スクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを予めご承知お きくださいますようお願い申し上げます。